

校名	府立生野聴覚支援学校
校長名	田口 登志子

開催日時	令和8年7月2日(木)10:30～	
開催場所	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室	
出席者(委員)	早野委員 徳元委員 中尾委員 尾中委員 山口委員	
出席者(学校)	校長 田口、教頭 長江・井端、事務長 山口、首席 佐加・中野・那須、部主事 石橋・坂井	
傍聴者	0名	
協議資料	令和8年度 学校経営計画及び学校評価他	
備考		

議題等(次第順)		
1. 学校長あいさつ 2. 令和8年度委員、事務局員紹介 (資料1) 3. 令和8年度 学校運営協議会 実施要項について(資料2、3、7) 4. 校内見学(幼稚園部→早期→小学部→聴能発音室→中学部) 5. 会長、副会長について(資料4) 6. 今年度の学校経営計画について(資料5) 7. その他 ・令和9年度使用教科用図書選定について(資料6ー1、6ー2) ・次回の予定		
協議内容・承認事項等(意見の概要)		
3. 令和8年度学校運営協議会実施要項について ・要項の確認と委員全員の出席に伴い会議の成立について承認された。 ・学校運営協議会議事録への名前の掲載について承認された。 5. 会長、副会長について ・会長に早野委員を、副会長に徳元委員を選出した。 6. 今年度の学校経営計画及び学校評価について 校長:100周年を迎えるにあたり、「これまでの100年 ここからの100年 誇りと喜びを持てる学校」を学校像に掲げ、①安全に安心して学べる学校づくり、②将来を見据えたキャリア教育と確かな学力の育成、③聴覚障がい教育を中心とした専門性の向上、④センター的機能の発揮を柱として教育活動を推進する。また、働き方改革の観点から分掌再編を令和7年度に取組み、8分掌から5分掌にした。今年度は各所で業務内容を精査し、教職員が働きやすい学校づくりも進めていく。 会長:校内見学では幼児児童生徒が生き生きと活動する様子や、教職員との良好な信頼関係を感じることができた。本日の協議を通して、学校経営計画について活発な意見交換を行いたい。 ＜中期目標1＞→防犯・防災については生野区や生野警察等と連携し、安全教育や訓練を実施している。また、アレルギー対応についても専門医による研修を継続し、安全な学校づくりに取り組んでいる。 委員:校内見学を通して、子どもたちが明るく落ち着いた環境の中で学習している様子を見ることができた。引き続き地域と連携しながら安全・安心な学校づくりを進めていただきたい。 ＜中期目標2＞→ICTの活用や集団での学びを生かした授業づくりを進めるとともに、先輩講演会や職場体験などを通してキャリア教育の充実を図っている。交流及び共同学習については地域校との継続した交流を行い、相互理解を深めている。また、大阪府立学校で導入された『さくら連絡網』の効果的な活用をめざしたい。 委員:学校間交流が継続されており、子どもたちが顔見知りとなり自然に関わっている様子が見られる。交流及び共同学習は双方にとって学びの深い取組であり、今後も継続してほしい。 ＜中期目標3＞→校内外の研修や伝達講習を通して専門性の向上を図るとともに、校内支援会議を活用しながら教職員が協働して課題解決に取り組んでいる。また、100周年を機会として聴覚障がい教育の継承と発展につなげていく。 委員:聴覚支援学校の良さや、子どもたちが安心して学べる環境が日々の教育活動に表れている。100周年に向けた取組を通して、さらに学校全体の活性化につながることを期待したい。 ＜中期目標4＞→いくの聴覚言語支援センターとして、通級指導や地域支援、早期相談支援の充実を図り、関係機関と連携しながらセンター的機能を発揮している。 委員:地域校を選択する幼児児童生徒が増える中、聴覚支援学校の学びや魅力を広く発信していくことが重要である。100周年行事を契機として学校の取組を広く知ってもらう機会になればよい。 ＜中期目標5＞→昨年度に分掌再編を実施した。今年度は内容について精査し、業務の効率化や働き方改革につなげていきたい。 会長:100周年を契機として学校の魅力を広く発信するとともに、この学校ならではの「集団を生かした活動」を柱にして、教育活動を進めてほしい。 7. その他 ・令和9年度使用教科用図書選定について承認された。 ・今年度の計画 第2回 令和8年12月3日(木) 第3回 令和9年2月18日(木)		
次回の会議日程		
日時	令和8年12月3日(木)10:00～11:30	
会場	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室	